

第105期 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日



養命酒製造株式会社は2023年6月20日に会社創立100周年を迎えました。
長きにわたり、支えてくださったすべての皆様に心より感謝を申し上げます。

次のすこやかさへ、一步一步



時代をこえて受け継がれ、
積み重ねてきた知恵と技術を大切にしながらも、
私たちが立ち止まることはありません。

次のすこやかさへ、一步一步

お客様のすこやかな日々に寄り添うために
私たちは、たゆまぬ歩みで
新しい可能性を追求し続けます。

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く
お礼申し上げます。

ここに、養命酒製造株式会社の
第105期(2022年4月1日から
2023年3月31日まで)の営業
の概況をご報告いたします。

2023年6月

代表取締役社長 塩澤 太郎



第105期の業績の概要

当事業年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策や各種政策等により、経済社会活動は正常化に向かいつつあるものの、エネルギーや原材料価格の高騰、物価の上昇等により、依然として厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、経営理念「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」の下、事業ビジョン「すこやかでより良い時間を願う人々を応援する」に基づき、中期経営計画(2022年4月~2027年3月)において、「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」を基本戦略と定め、「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化(深化)と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築(探索)を同時に行う「両利きの経営」を推進し、収益性を確保しつつ成長投資を行い、新たな企業価値の創造に取り組んでまいりました。

当事業年度の業績は、売上高は10,647百万円(前年同期比

0.7%増)、営業利益は主に広告宣伝費の節減により1,077百万円(前年同期比8.1%増)、経常利益は1,480百万円(前年同期比8.7%増)、当期純利益は1,020百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

第106期の見通し

今後の見通しといたしましては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあり、緩やかな景気の回復が期待されるものの、物価高による消費者の節約志向の高まりに加え、海外経済の不確実性や通商問題、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギーや原材料価格等の高騰の影響が想定されることから、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような経営環境の中、当社は中期経営計画(2022年4月~2027年3月)の2年目として、養命酒関連事業につきましては、収益力強化に努めるとともに、国内「養命酒」においては効果的な広告実施を目指すほか、調剤薬局の取扱店舗数増加等による新規需要の創造と既存顧客の維持に取り組んでまいります。くらすわ関連事業につきましては、2023年4月の「くらすわ駒ヶ根店」のリニューアルをはじめとして、2024年秋頃の開業を目指し、体験型施設の建設を進めてまいります。また、ロゴマークを一新し、リブランディングを進めております。「広げる、すこやかなくらしの輪」をブランドコンセプトとし、商品・サービスを通じて生活者の皆様の豊かな健康生活に貢献できるよう取り組んでまいります。

第106期の業績予想に関しましては、主にくらすわ関連事業の通信販売及び外販(他社チャネル販売)の強化により売上高11,240百万円(前年同期比5.6%増)、エネルギーや原材料価格の高騰によるコスト負担の増加、くらすわ関連事業に係る先行投資等により営業利益720百万円(前年同期比33.2%減)、経常利益1,110百万円(前年同期比25.0%減)、当期純利益830百万円(前年同期比18.7%減)を見込んでおります。

経営理念とあるべき姿

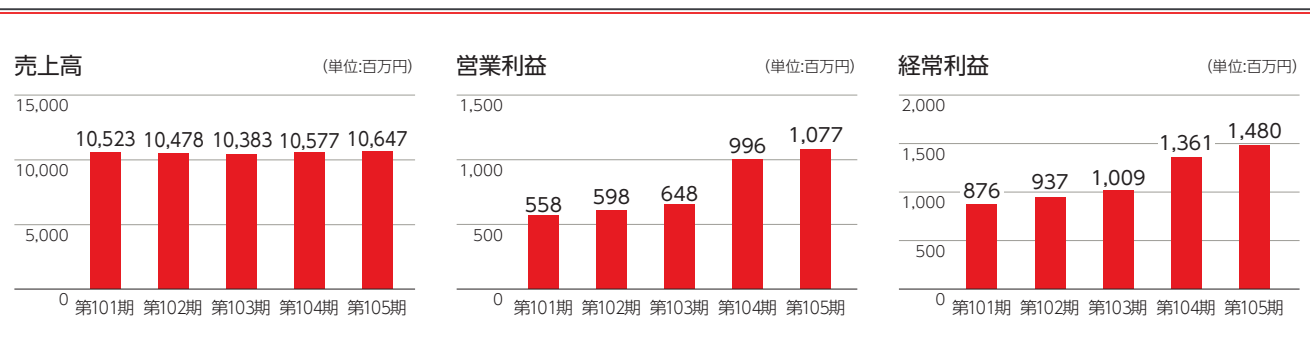
経営理念
生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する
企業ビジョン
健全で、強い、良い会社
事業ビジョン
すこやかでより良い時間を願う人々を応援する

中期経営計画(2022年4月~2027年3月)

基本戦略: 次の100年に向けた成長投資と
持続的成長基盤の確立

戦略課題

1. 効率を重視した既存事業の収益力強化
2. 「くらすわ」ブランドを軸としたダイレクトチャネル事業の構築
3. サステナビリティ経営の推進
4. 事業領域の拡大に向けた多様な人材活用と人的資本・知的財産等の無形資産への投資



セグメント別の状況

養命酒関連事業



テレビ広告

国内「養命酒」は物価高による節約志向の高まり等の影響を受け微減となりましたが、酒類・食品(「高麗人参酒」、「養命酒製造クロモジのど飴」)に加えて「グミ×サブリ」が寄与、海外(海外「養命酒」を含む国外販売)では、「養命酒」が堅調に推移し、売上高は9,692百万円となりました。

国内「養命酒」につきましては、テレビCMや新聞等の広告を実施しました。営業活動については、卸店やドラッグストア等主要販売チャネルである小売店と協働した売



海外における「養命酒」広告



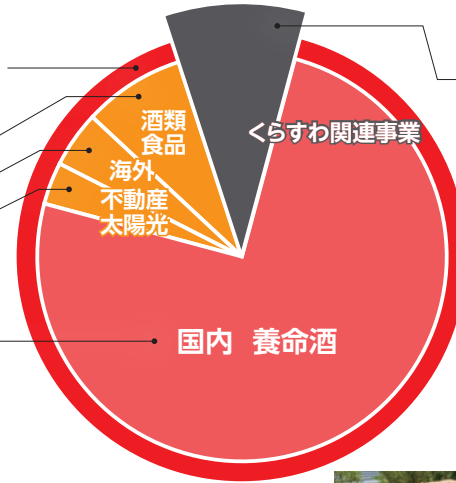
新聞広告

り場作りによって露出を維持し、売上高は7,985百万円となりました。
 その他の売上高は、酒類・食品893百万円、海外446百万円、不動産賃貸・太陽光発電367百万円となりました。

養命酒関連事業 **91.0%**
 売上高9,692百万円

酒類・食品 893百万円
 海外 446百万円
 不動産賃貸・太陽光発電 367百万円

国内養命酒 7,985百万円



くらすわ関連事業 **9.0%**
 売上高954百万円



くらすわ関連事業



くらすわ本店

店舗では新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少していた来客数が回復しつつあります。通信販売では「五養粥」等のくらすわブランド商品が寄与しました。また、郵便局等を通じたカタログ販売の拡大に取り組み、売上高は954百万円となりました。



冬ギフトチラシ (通信販売)



くらすわショップ

養命酒製造株式会社 会社創立100周年

養命酒製造株式会社は、2023年6月20日に会社創立100周年を迎えました。長きにわたり、支えてくださったすべての皆様に心より感謝を申し上げます。これからも会社創立の思いを胸に一步一步、歩みを進めてまいりますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

会社創立100周年 記念サイト



当社の歴史、インタビュー等のコンテンツを掲載しております。

<https://www.yomeishu.co.jp/100th/>

会社創立100周年を記念した取り組み

- 体験型施設「くらすわの森」の見学会等（検討中）
2024年秋頃オープン予定の体験型施設「くらすわの森」の見学会等を検討しています。

- 長野県、駒ヶ根市、中川村への寄付
未来を担う次世代の教育にお役立ていただきたいと考え、会社創立の地である長野県中川村および長野県、駒ヶ根工場のある長野県駒ヶ根市に、合わせて2,100万円の寄付金を贈呈しました。



寄付に伴う感謝状贈呈式の様子
左から：阿部長野県知事、川村会長（養命酒製造）

- 創立100周年記念配当
2023年3月期の配当として、普通配当に加えて1株あたり10円の記念配当を実施いたしました。

100周年記念ロゴ



100周年の「100」を中央に大きく配置し、シンプルなデザインといたしました。ロゴ下部の「絆を結び、未来を創る」は、コロナ禍の中で分断された絆を結び直し、また新たな絆を結ぶことで、ステークホルダーの皆様とともに次の100年へ向けた未来を創っていきたいという想いを込めたスローガンです。

会社100年の歩み

大正12年 1923年

長野県上伊那郡に株式会社
天龍館設立、塩澤家より「養命酒」
の事業を継承

旧第一工場（「養命酒」発祥の地）



大正14年 1925年

東京・渋谷に天龍館東京支店を開設、
「養命酒」の全国販売に踏み出す

株式会社天龍館
名古屋支店



昭和26年 1951年

長野県岡谷市に岡谷工場を新設。商号を養命酒製造株式会社に改称

昭和28年 1953年

京都府宇治市に関西支店を開設（のち京都市をへて昭和46年に大阪市に移転、
大阪支店と改称）

昭和30年 1955年

東京証券取引所に上場

宣伝カーによる拡販活動



昭和47年 1972年

長野県駒ヶ根市に駒ヶ根工場を新設（同年岡谷工場を閉鎖）

昭和50年 1975年

長野県上伊那郡箕輪町中央研究所を新設（平成26年に商品開発センターに
改称）

昭和57年 1982年

「家醸本みりん」を発売

「家醸本みりん」



平成元年 1989年

本店新社屋が竣工

平成6年 1994年

中央研究所新棟が竣工

平成14年 2002年

養命酒創始400年記念式典開催、
養命酒創始400年記念館竣工

養命酒創始400
年記念館



平成17年 2005年

大正製薬株式会社との業務・資本提携を発表。
駒ヶ根工場に「養命酒健康の森」開設

平成18年 2006年

インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」開設。
「幸健生彩」、「養命水」を発売



平成22年 2010年

「ハーブの恵み」を発売。
長野県諏訪市に商業施設
「くらすわ」を開業



「くらすわ」（長野県諏訪市）

平成23年 2011年

「ハーブプラス Herb+」を発売

平成24年 2012年

インターネット通信販売サイトをYomeishuオンラインショップへリニューアル

平成25年 2013年

「食べる前のうる酢」、
「フルーツとハーブのお酒」を発売
埼玉県鶴ヶ島市に
「鶴ヶ島太陽光発電所」を開設



平成26年 2014年

「鶴ヶ島太陽光発電所」に見学施設
「eコラボ（エコラボ）つるがしま」を開設

「鶴ヶ島太陽光発電所」
（埼玉県鶴ヶ島市）

「eコラボ（エコラボ）つるがしま」
（埼玉県鶴ヶ島市）



平成28年 2016年

「琥珀生姜酒」を発売

「琥珀生姜酒」



平成29年 2017年

「はちみつのお酒」を発売

「はちみつのお酒」



「高麗人参酒」を発売

「高麗人参酒」



「生姜黒酢」「高麗人蔘黒酢」を発売



「五養粥」を発売

「五養粥」



平成30年 2018年

「養命酒製造 甘酒」を発売
「養命酒製造 のど飴」を発売

「養命酒製造 甘酒」

「養命酒製造 のど飴」



平成31年 2019年

クラフトジン「香の森」「香の雫」、
「クラフトジンカクテル」を発売



クラフトジン「香の森」
「香の雫」
「クラフトジンカクテル」

令和2年 2020年

台湾台北市に台北支店開設

東京都墨田区に

「くらすわ 東京スカイツリータウン・ソラマチ店」、
長野県松本市に「和ダイニングくらすわ」を開業

「ハーブの恵み」を

「夜のやすらぎ ハーブの恵み」にリニューアル

「養命酒製造 のど飴」を

「養命酒製造クロモジのど飴」にリニューアル

「琥珀生姜酒」を「生姜のお酒」にリニューアル



令和3年 2021年

「養命酒健康の森」内のショップ、カフェを
「くらすわ駒ヶ根店」ショップ、バーカリー&カフェにリニューアル

令和4年 2022年

「和養生にゅうめん」を発売



Topics

トピックス

Topics 2

工場見学の事前予約が 不要になりました

駒ヶ根工場見学の事前予約が不要になりました。皆様の予定にあわせて、好きなタイミングで工場見学をいただけます。

工場見学の情報は
こちらから



Topics 1

くらすわロゴマーク& 「くらすわ駒ヶ根店」 リニューアル



くらすわのロゴマークをリニューアルいたしました。くらすわの大切に
する3つの体験、「おいしい体験、たのしい体験、すこやかな体験」を
3本の円弧で表現しています。あえて均一な円ではない柔軟さを感じ
させる形状にすることで、形を変えながら多様な人のくらしに寄り添う
ことのできる親しみや安心感を表現しています。

また、4月12日にくらすわ駒ヶ根店のショップをリニューアルオープン
いたしました。明るく、見やすくなった店内でお買い物をお楽しみく
ださい。



画像提供：丹青社
撮影：田口純也

くらすわ駒ヶ根店

Topics 3

クラフトジン「香の雫」リニューアル

アルコール度数を37%から
40%に上げることで、より香
り高く、カクテルなどでお飲
みいただいてもしっかりと香
りとボリュームのある味わい
を感じていただける仕様に
いたしました。



体験型施設 「くらすわの森」



「くらすわの森」について

当社は会社創立100周年を機に、養命酒 駒ヶ根工場内にある「養命酒健康の森」をリニューアルし、新たに「くらすわの森」をオープンしました。おいしい体験、たのしい体験、すこやかな体験を通して、「すこやかなくらし」を提供する「くらすわの森」全施設のグランドオープンは、2024年秋頃の予定です。

■ 施設概要

施設名：くらすわの森
グランドオープン：2024年秋頃（予定）
住所：長野県駒ヶ根市赤穂16410
敷地面積：138,000㎡

■ 予定コンテンツ

森林散策路
森のプレイパーク
森のライブラリー（図書館）
バーベキュー場
シャルキュトリー（食肉加工店）
菓子工房
レストラン、ベーカリーなど

イメージ図



画像提供：丹青社

「くらすわ」の詳細については、以下WEBサイトをご覧ください。

<https://clasuwa.jp/>



会社概要 (2023年6月29日現在)

社名 養命酒製造株式会社
YOMEISHU SEIZO CO., LTD.

本店所在地 〒150-8563
東京都渋谷区南平台町16番25号
電話 03-3462-8111
FAX 03-3462-8340
URL <https://www.yomeishu.co.jp/>

事業所 大阪支店、駒ヶ根工場、
商品開発センター、商業施設くらすわ、
鶴ヶ島太陽光発電所、台北支店

設立 大正12年(1923年)6月20日

資本金 16億5,000万円

上場 東京証券取引所プライム市場

事業内容 養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売
飲食店及び売店の経営
不動産の賃貸
自然エネルギー等による発電事業及び
電気の供給、販売等に関する業務

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

従業員数 290名 (2023年3月31日現在)

取締役及び執行役員

代表取締役会長	川村 昌平	上席執行役員	丸山 明彦
代表取締役社長	塩澤 太朗	上席執行役員	宮下 克彦
取締役副社長執行役員	田中 英雄	上席執行役員	井川 明
取締役常務執行役員	神林 敬	上席執行役員	清水 政明
取締役常務執行役員	大森 勉	執行役員	福盛 禎仁
取締役常務執行役員	斉藤 隆	執行役員	内藤 久嗣
取締役 常勤監査等委員*	野崎 知	執行役員	田辺 章二
取締役 監査等委員*	笠原 孟		
取締役 監査等委員*	須永 明美		

※ 社外取締役であります。

株式関係 (2023年3月31日現在)

○ 上位10名の株主

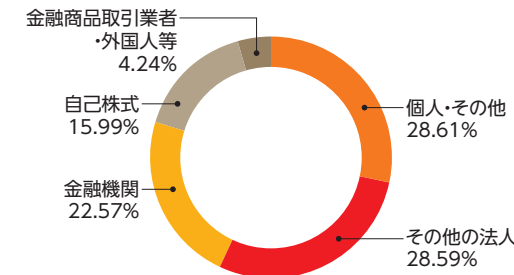
株主名	持株数(千株)
大正製薬ホールディングス株式会社	3,300
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	847
三菱UFJ信託銀行株式会社	675
株式会社八十二銀行	650
トーア再保険株式会社	548
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	382
株式会社三井住友銀行	264
キッコーマン株式会社	221
藤澤玄雄	220
株式会社十八親和銀行	211

(注) 当社は、自己株式を2,638千株所有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

○ 株式の状況

発行可能株式総数 66,000,000株
発行済株式の総数 16,500,000株
株主数 14,969名

○ 所有者別株式分布状況



株主メモ

証券コード 2540

一単元の株式数 100株

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

同総会基準日 毎年3月31日

配当金受領株主確定日 毎年3月31日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.yomeishu.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き

証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様
口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。

特別口座に当社株式が記録されている株主様
上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。

未受領配当金のお支払い

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

株主優待制度のご案内

対象となる株主様

毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、100株(1単元)以上保有の株主様



写真は2023年2月に発送した優待品の一例です。

株主優待の内容

株式の保有期間に応じて優待品を年1回贈呈

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上	1,500円相当の 自社商品詰め合わせ	3,000円相当の 自社商品詰め合わせ

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録され、かつ9月30日、12月31日、3月31日、6月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、13回以上連続で100株(1単元)以上の記載または記録された株主様といたします。

すこやかさ、 つづけ。

14種類の
生薬



伊予国産酒心部



2023年度
広告出演タレント
草刈正雄さん

[効能・効果] 肉体疲労・胃腸虚弱・食欲不振・虚弱体質・冷え症・血色不良・病中病後の滋養強壮に 養命酒製造株式会社 www.yomeishu.co.jp 薬用 **養命酒**®